

1 確率の求め方

例題 1個のさいころを投げるとき、偶数の目が出る確率を求めなさい。



さいころの目の出方は

6

 通りあり、それらは同様に

確からしい。

このうち、偶数の目は

2,

4

,

6

の3通りある。

よって、求める確率は

$$\frac{\begin{array}{|c|} \hline 3 \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline 6 \\ \hline \end{array}} = \frac{1}{2}$$

解説

さいころの目の出方は

6

 通りあり、それらは同様に確からしい。

このうち、偶数の目は

2,

4

,

6

の3通りある。

よって、求める確率は

$$\frac{\begin{array}{|c|} \hline 3 \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline 6 \\ \hline \end{array}} = \frac{1}{2}$$

2 1個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 1の目が出る確率 (2) 5か6の目が出る確率

解答 (1) $\frac{1}{6}$ (2) $\frac{1}{3}$

解説

さいころの目の出方は6通りあり、それらは同様に確からしい。

(1) 1の目が出る確率は $\frac{1}{6}$

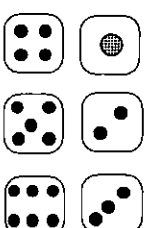
(2) 5か6の目が出る確率は $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$

3 1個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 2の目が出る確率

- (2) 奇数の目が出る確率

- (3) 5以上の目が出る確率



解答 (1) $\frac{1}{6}$ (2) $\frac{1}{2}$ (3) $\frac{1}{3}$

解説

- (1) 2の目が出る出方は1通りある。

よって、求める確率は $\frac{1}{6}$

- (2) 奇数の目が出る出方は1, 3, 5の3通りある。

よって、求める確率は $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

- (3) 5以上の目が出る出方は5, 6の2通りある。

よって、求める確率は $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$